

世界が進むチカラになる。



経済調査

# ロシア・トルコ景気概況 (2026年1-3月)

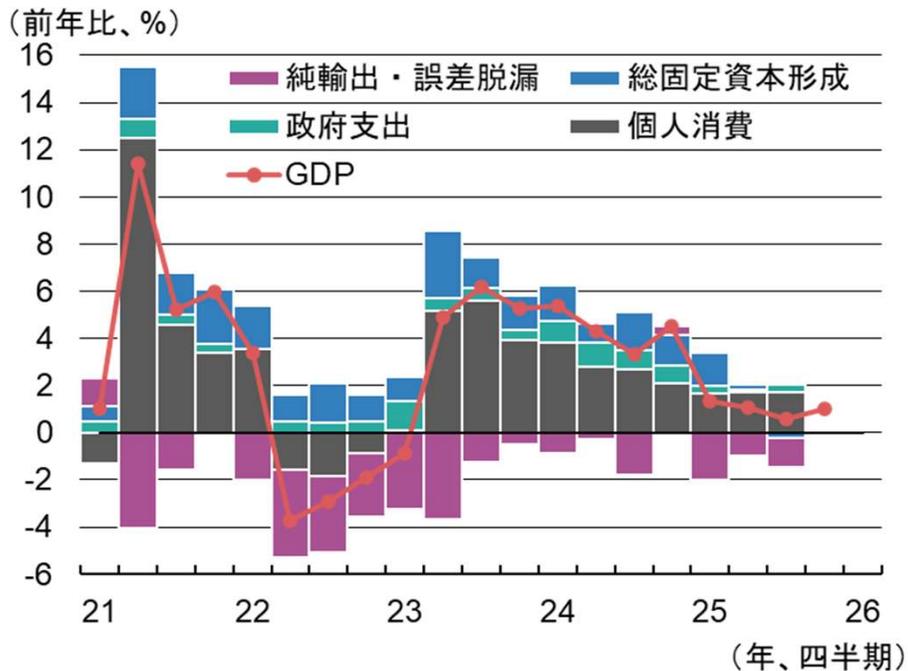
2026年4月1日

調査部 主任研究員 土田陽介

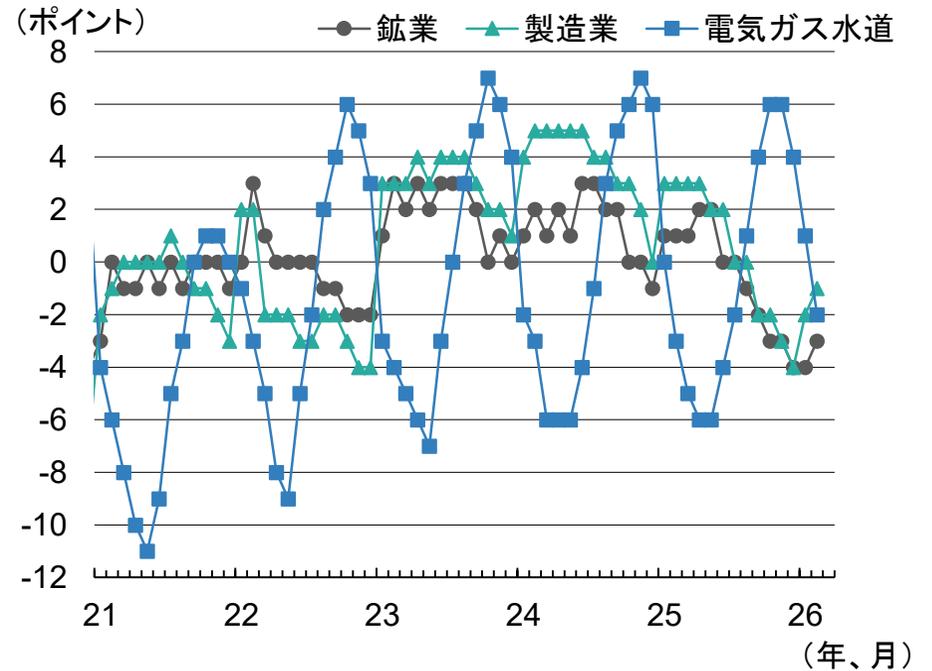
# ロシア景気概況① 景気は減速している

ロシアの2025年通年の実質GDPは前年比+1.0%と、前年(同+4.9%)から失速した。通年の成長率から逆算すると、同年10-12月期の成長率(未公表)は前年比+1.0%程度と推測される。続く2026年1月の月次GDPは同▲2.1%と、2023年3月以来の前年割れとなった。一方、1-3月期の企業景況感指数は、鉱業と製造業が底打ちした。

## 実質GDP



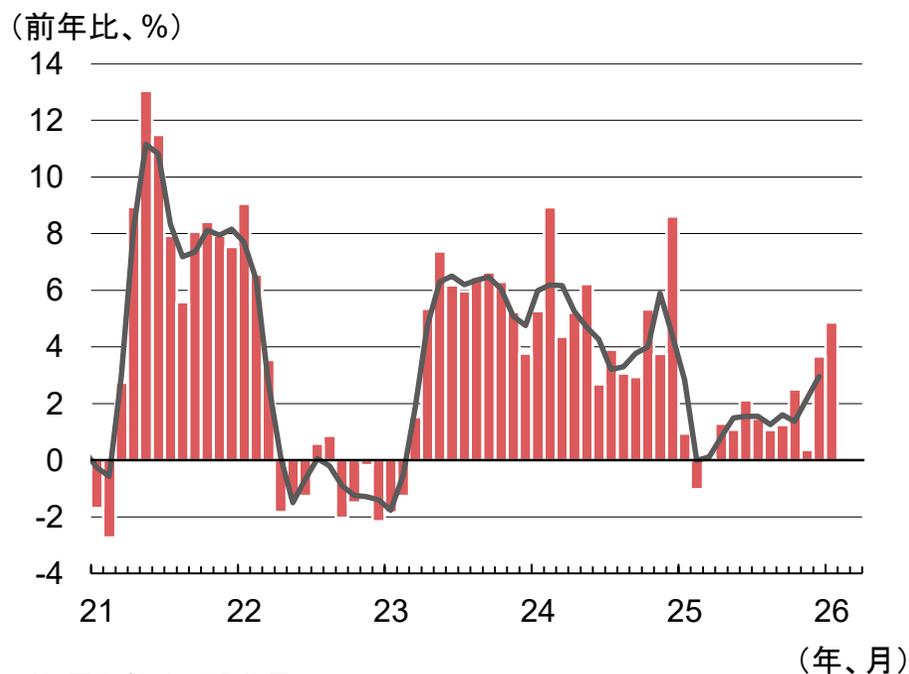
## 企業景況感指数



## ロシア景気概況② 生産は拡大している

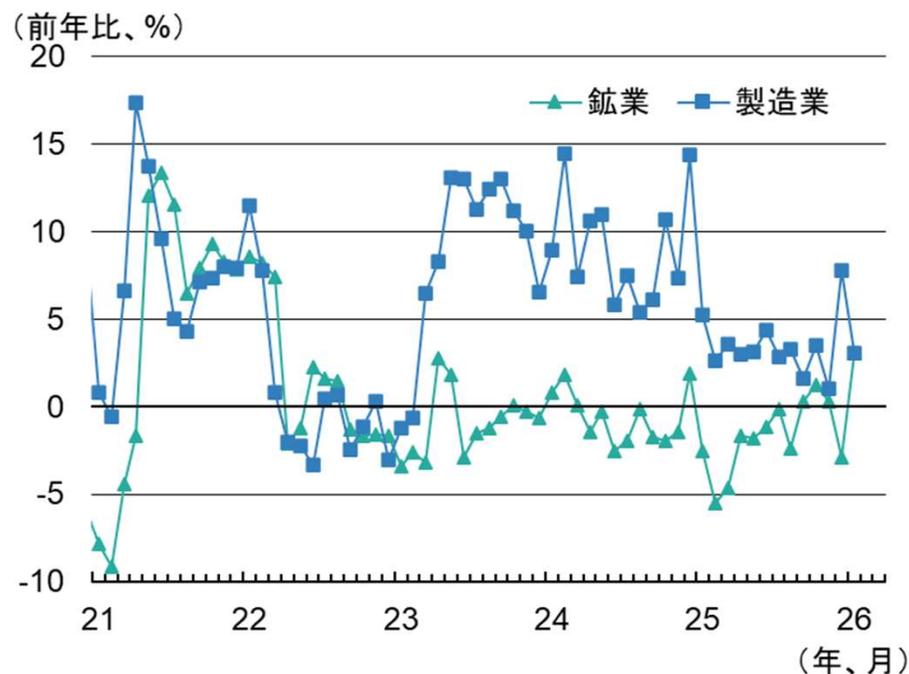
ロシアの2026年1月の鉱工業生産は前年比+4.9%と、2カ月連続で増勢が加速し、均した動きも上向き。内訳を確認すると、製造業が同+3.0%と前月(同+7.8%)から鈍化した一方、鉱業が同+3.1%と反発し、前年越えに転じた。

### 鉱工業生産



(注) 灰色線は3カ月移動平均  
(出所) ロススタット

### 鉱業生産と製造業生産

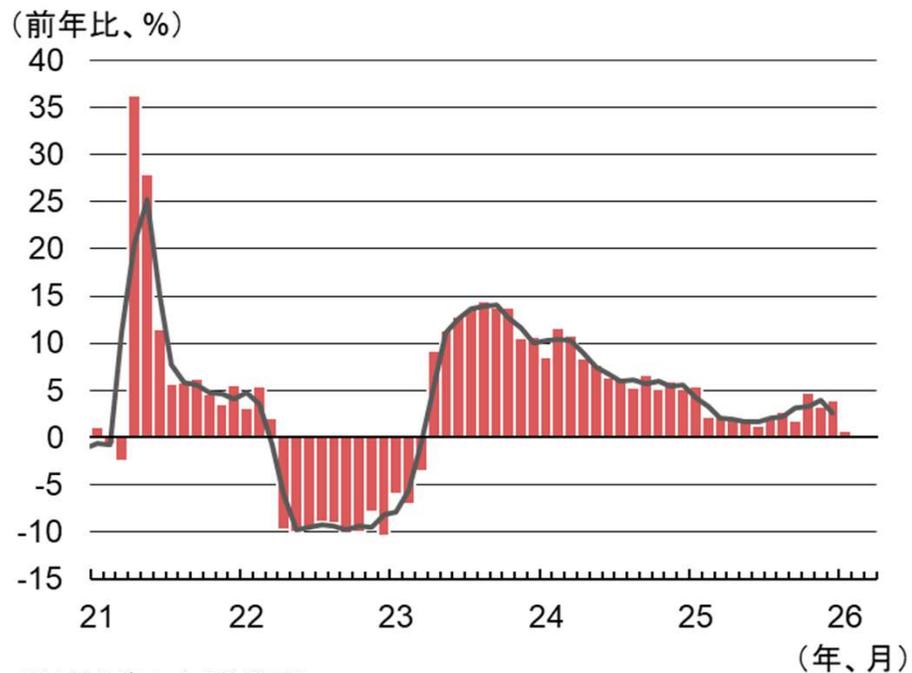


(出所) ロススタット

## ロシア景気概況③ 消費は低迷している

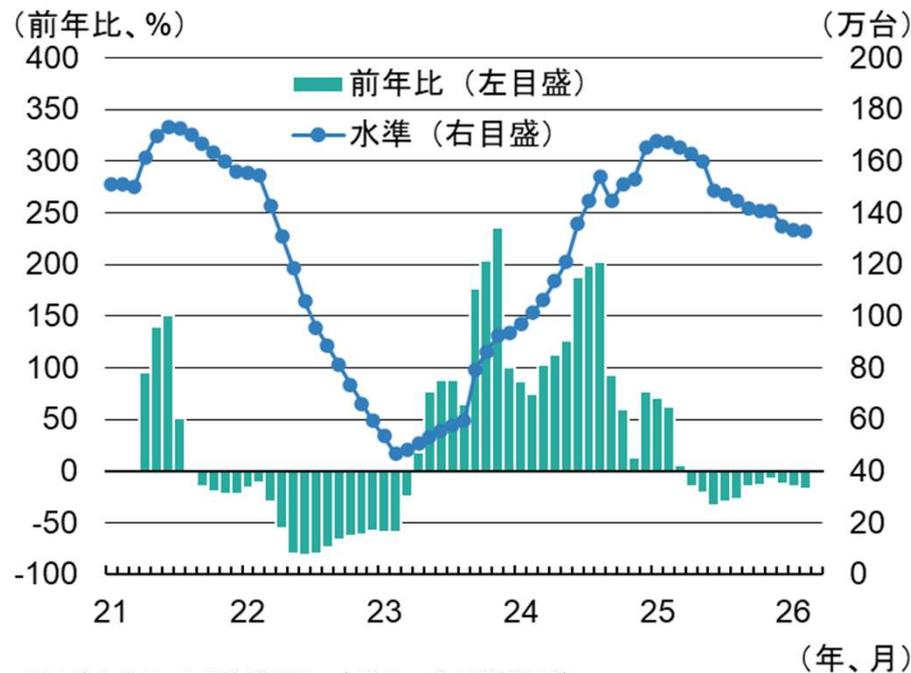
ロシアの2026年1月の小売売上高は前年比+0.7%と増勢が失速し、均した動きも低位横ばい。内訳を確認すると、非食品売上の増勢は底堅い反面、食品売上の動きが弱かった。一方、ロシアの新車販売台数は前年割れが続き、市場規模は年間130万台前半レベルまで縮小した。

### 小売売上高



(注) 灰色線は3カ月移動平均  
(出所) ロススタート

### 新車販売台数

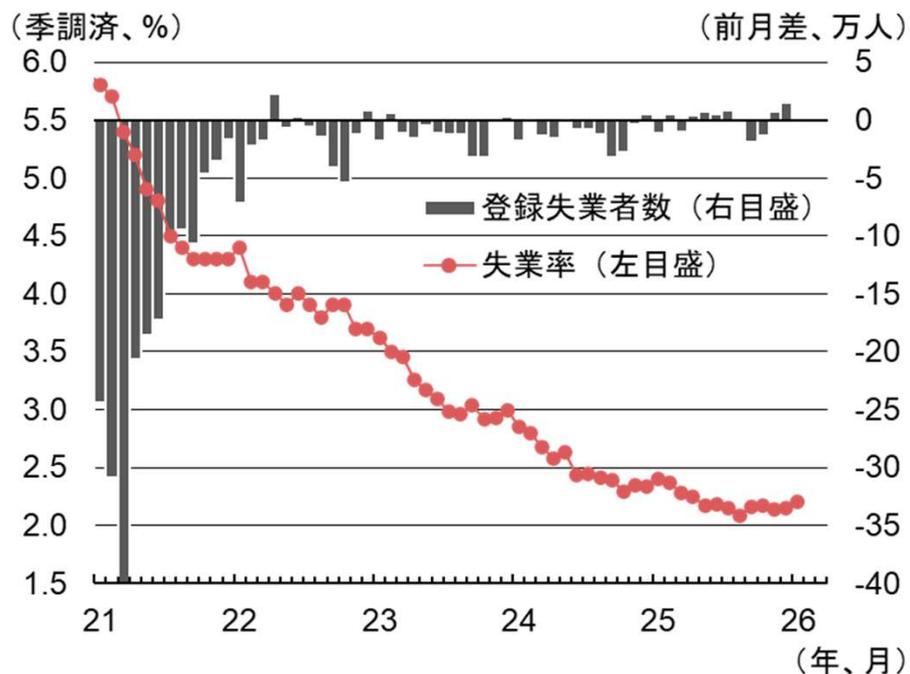


(注) 前年比は3カ月移動平均、水準は12カ月移動累積  
(出所) 欧州ビジネス協会 (AEB)

## ロシア景気概況④ 雇用は改善が一服している

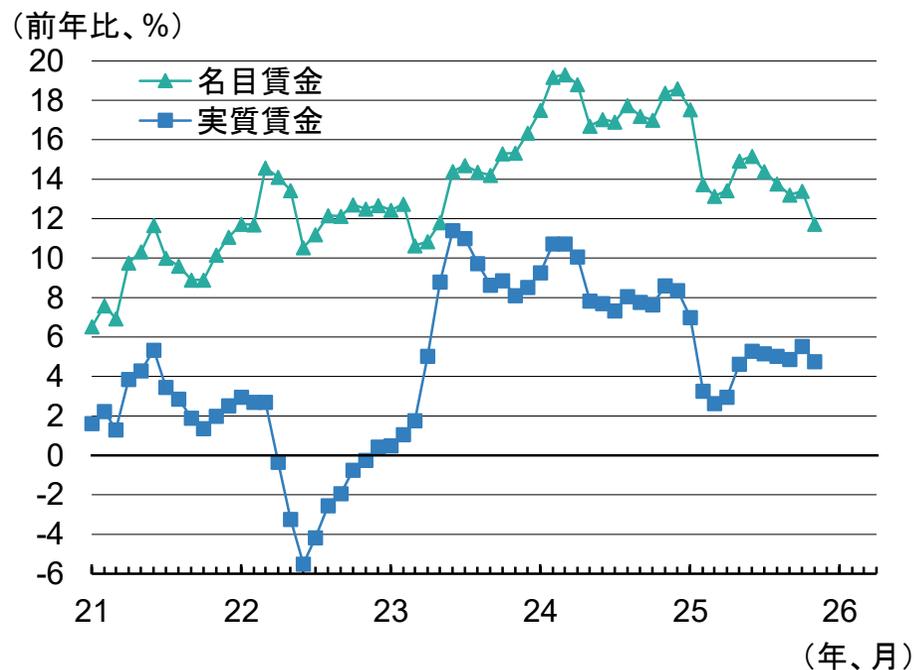
ロシアの2026年1月の失業率は2.2%と低水準で横ばいが続き、雇用は改善が一服していると判断される。一方、実質賃金は2025年末には前年比+5%程度まで増勢が鈍化した。ロシアの最低賃金は2026年1月より月22,440ルーブルから同27,093ルーブルに引き上げられたため、名目賃金の増勢は再加速する見通し。

### 失業率と失業者数



(出所)ロススタット

### 賃金動向

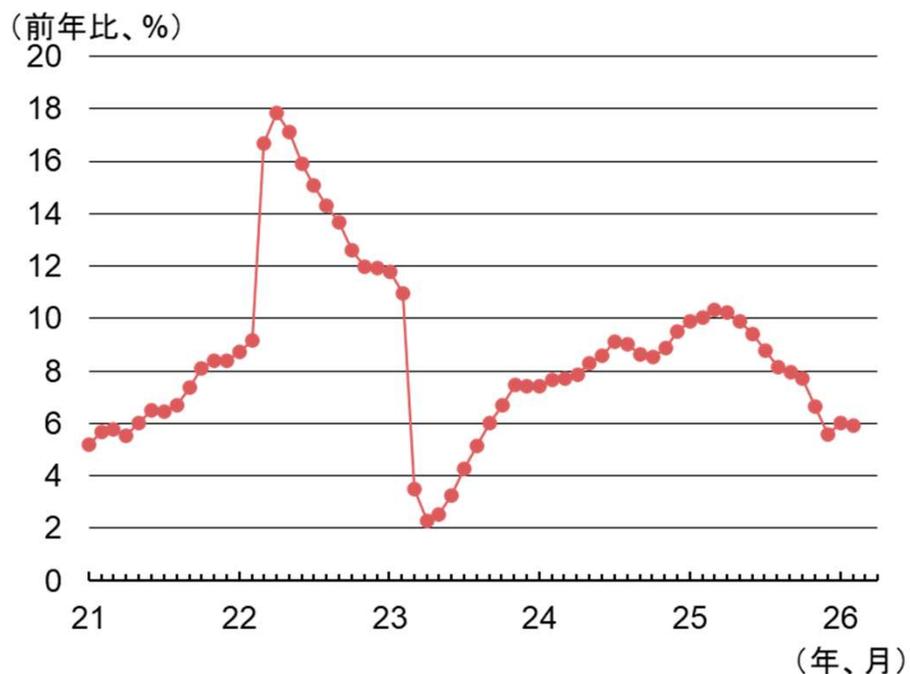


(注)3カ月移動平均  
(出所)欧州ビジネス協会(AEB)

## ロシア景気概況⑤ 物価はデスインフレが一服している

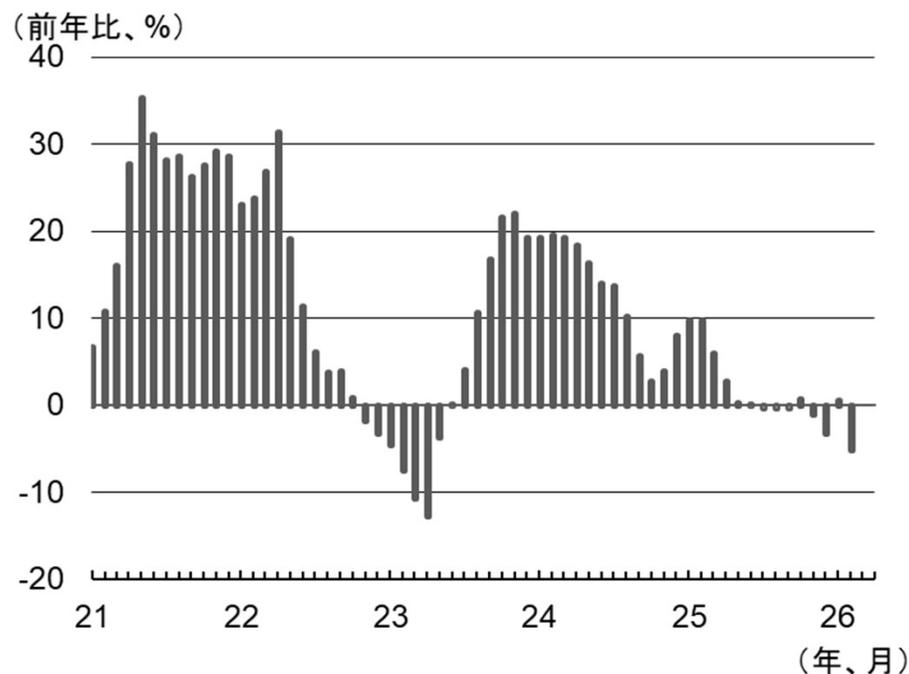
ロシアの2026年2月の消費者物価は前年比+5.9%と前月(同+6.0%)から横ばいになり、デスインフレが一服した。1月に最低賃金の引き上げと付加価値税(VAT)率の引き上げ(20%から22%)が実施されたため、デスインフレに歯止めがかかったもよう。一方、2月の生産者物価は同▲5.2%と、再び前年割れとなった。

### 消費者物価



(出所)ロススタット

### 生産者物価

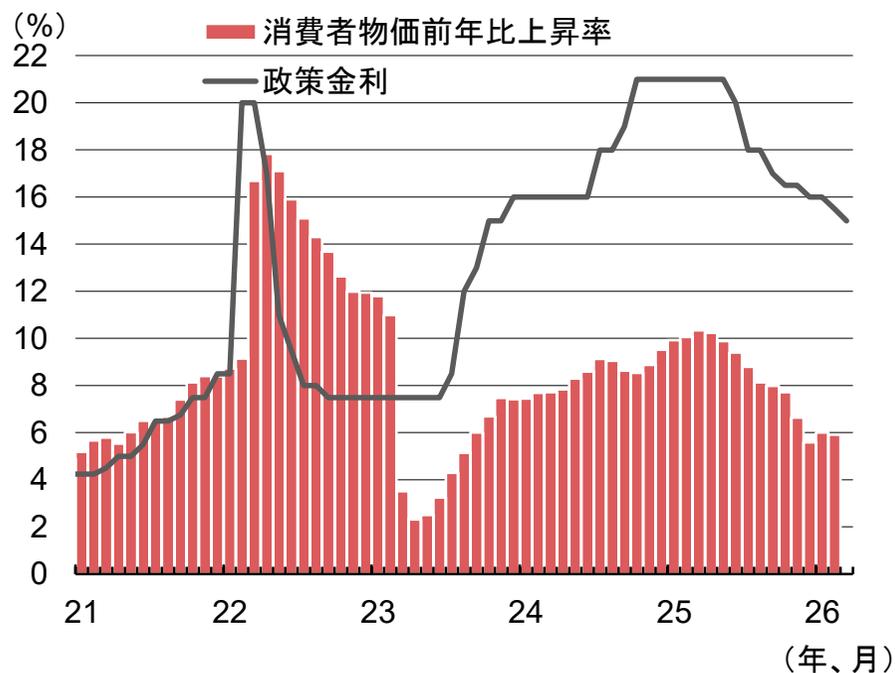


(出所)ロススタット

## ロシア景気概況⑥ ロシア中銀は利下げを進める

ロシア中銀は2026年3月の金融政策決定会合で、政策金利を0.5%ポイント引き下げ、年15%とした。利下げは7会合連続。企業や家計のインフレ期待が依然として強いため、ロシア中銀は追加利下げに慎重な姿勢を堅持している。一方、マネーサプライ(M2)の増勢は減速基調で推移しており、景気低迷で資金需要が弱まっているもよう。

### 政策金利と消費者物価



(出所)ロシア中銀、ロススタット

### マネーサプライ(M2)



(出所)ロシア中銀

## ロシア景気概況⑦ 金利は低下、株価は下落

ロシアの2025年10-12月期の長期金利は低下した。ロシア中銀による利下げや国内投資家による質への逃避から長期金利は低下したとみられる。一方、同期のロシアの株価は下落した。イラン情勢の緊迫化でリスクオフの流れが生じたと考えられる。

### 10年国債流通利回り



(出所)ロシア財務省

### 株価(RTS指数)



(出所)モスクワ取引所

## ロシア景気概況⑧ 通貨は対ドル・対円で下落

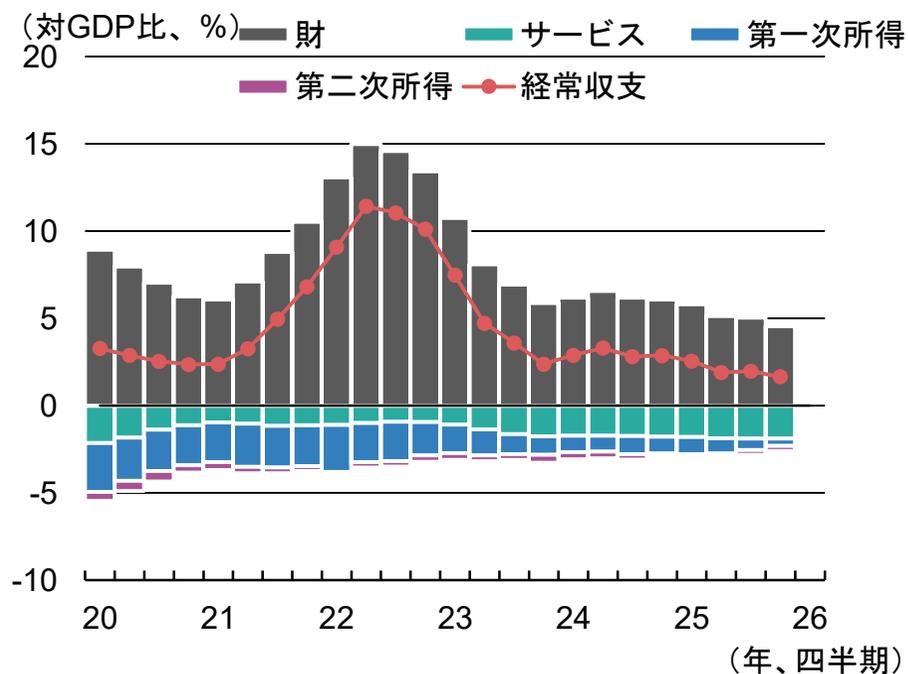
ロシアの通貨ルーブルの2026年1-3月期の相場は、対ドル・対円とも下落した。イラン情勢の緊迫化で“有事のドル買い”が生じた。一方、経常収支は2%台の黒字が定着して久しいが、その中心である貿易黒字は縮小が続く。

### ルーブル相場



(出所)ロシア中銀

### 国際収支

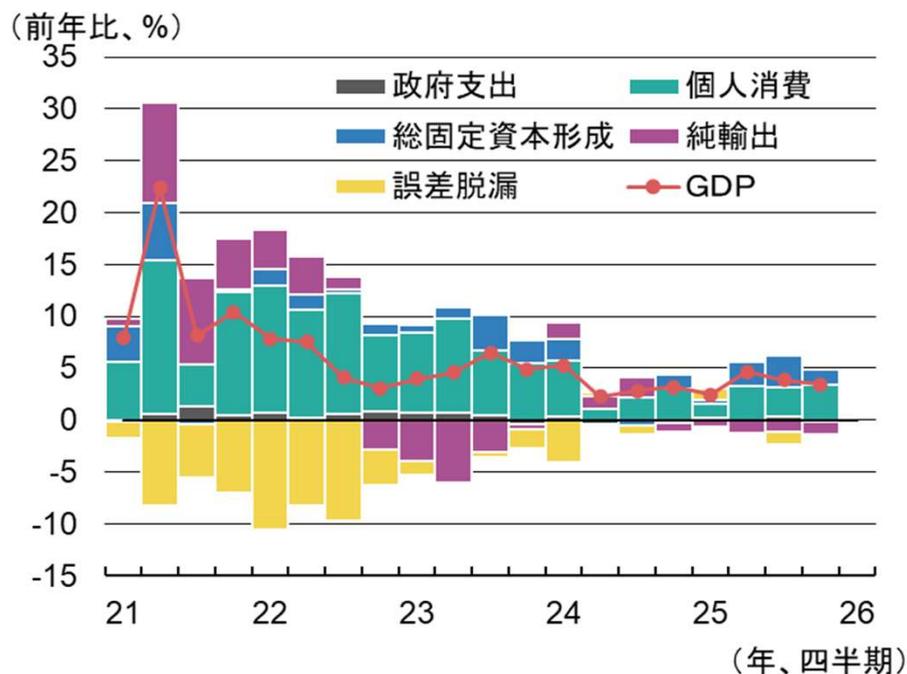


(出所)ロシア中銀

# トルコ景気概況① 景気は減速している

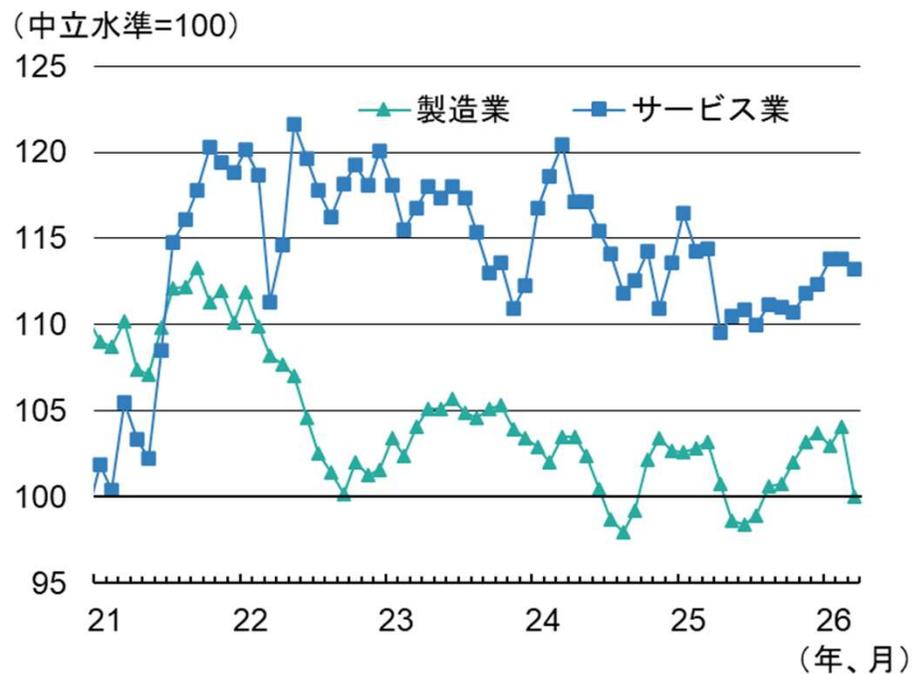
トルコの2025年10-12月期の実質GDPは前年比+3.4%と、2四半期連続で伸びが鈍化した。堅調な内需が景気をけん引した反面、軟調な輸出が経済の成長を下押しした。続く2026年1-3月期の企業景況感指数は、サービス業は高水準を維持したが、製造業は中立水準まで低下した。イラン情勢緊迫化の影響とみられる。

## 実質GDP



(出所)トルコ統計局

## 企業景況感指数

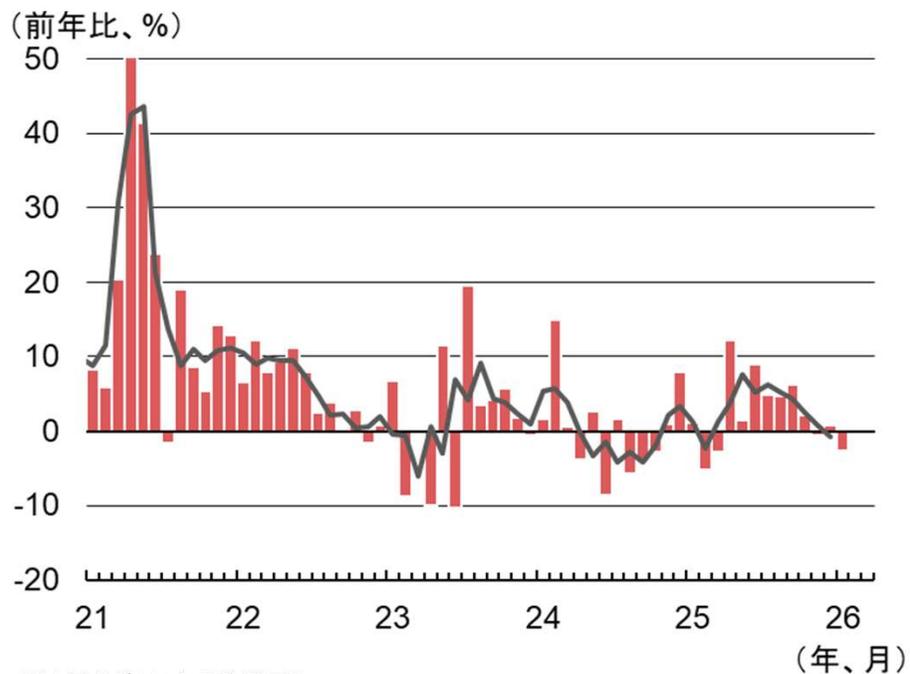


(出所)トルコ中央銀行、トルコ統計局

## トルコ景気概況② 生産は低迷している

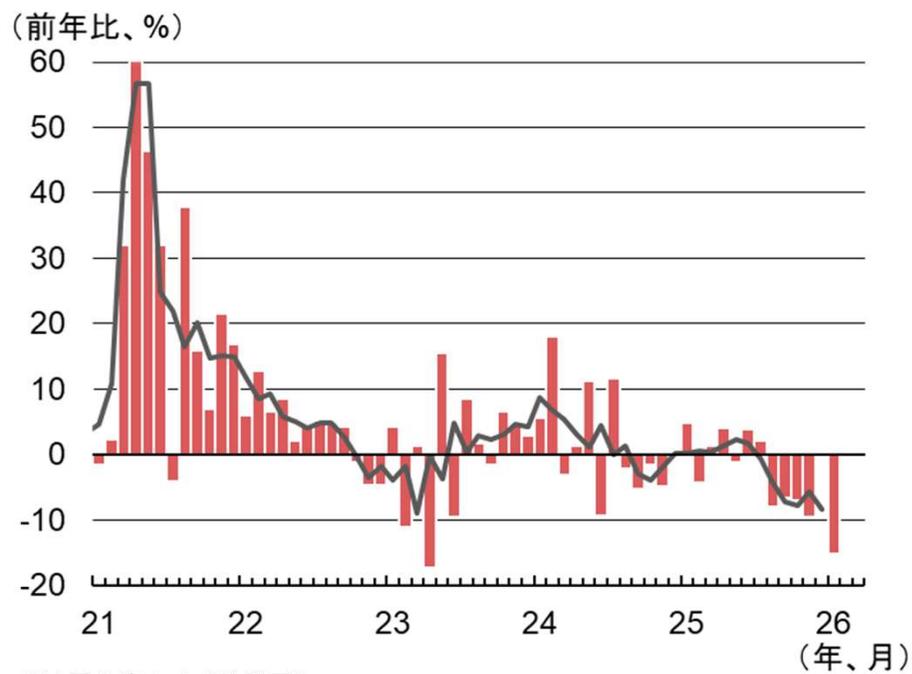
トルコの2026年1月の鉱工業生産は前年比▲2.6%と再び前年割れとなり、均した動きも前年割れに転じた。一方、同月の実質輸出は同▲8.0%と6カ月連続で前年割れとなり、均した動きも下向き。

### 鉱工業生産



(注) 灰色線は3カ月移動平均  
(出所)トルコ統計局

### 実質輸出



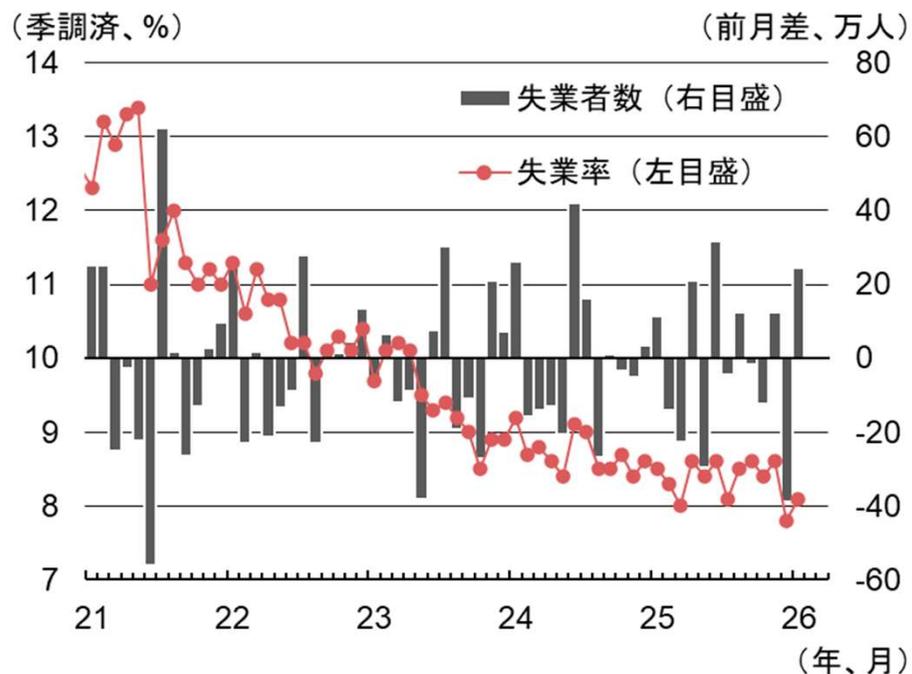
(注) 灰色線は3カ月移動平均  
(出所)トルコ統計局



## トルコ景気概況④ 雇用は改善が一服している

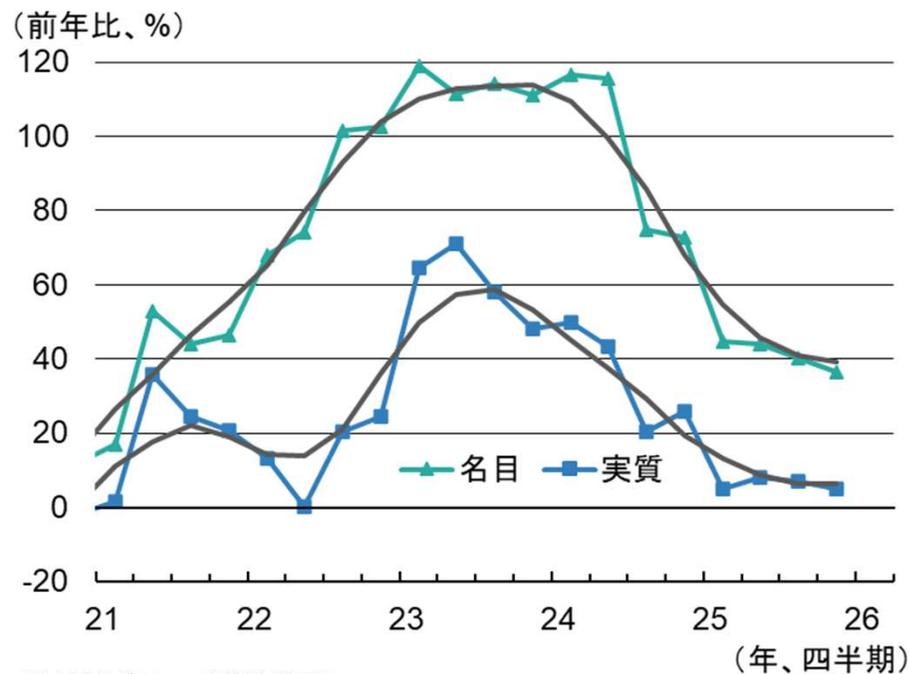
トルコの2026年1月の失業率は8.1%と、低位で横ばいとなった。また同月の失業者数は前月差24万人増と再び増加しており、雇用は改善が一服した。他方で賃金・給与指数は、名目ベースでは前年比+40%程度まで、また実質ベースでは同+6%程度まで、増勢が鈍化した。

### 失業率



(出所)トルコ統計局

### 賃金・給与指数

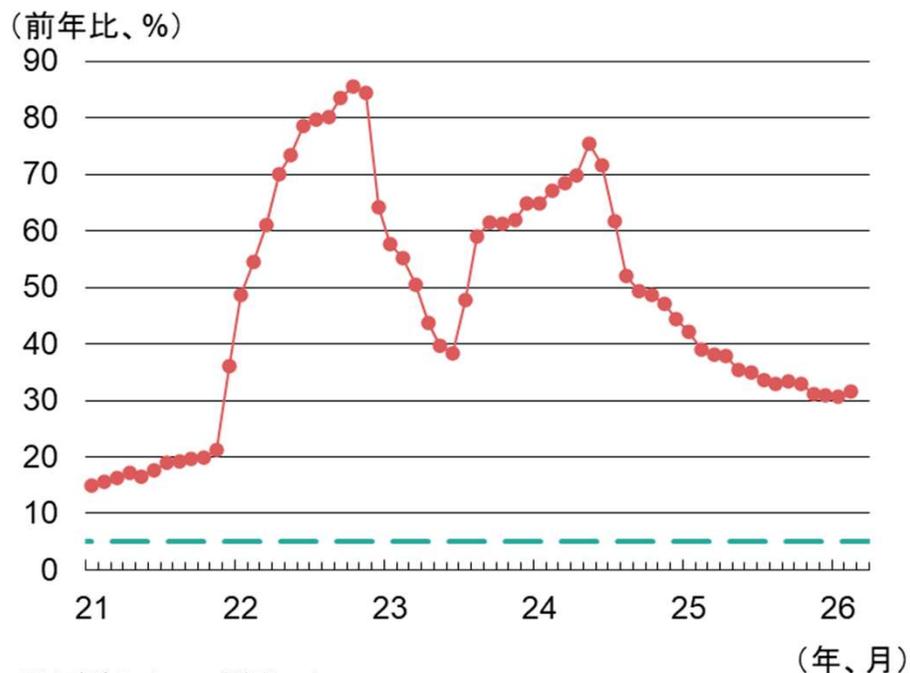


(注) 灰色線は4四半期移動平均  
(出所)トルコ統計局

## トルコ景気概況⑤ 物価はインフレ再加速の兆し

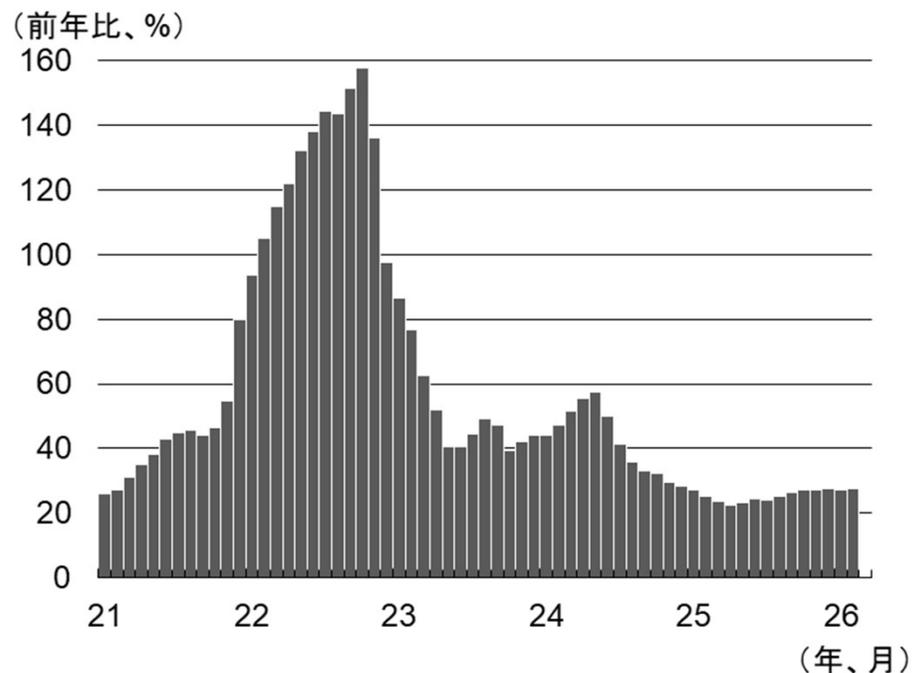
トルコの2026年2月の消費者物価は前年比+31.5%と前月(同+30.7%)から伸びが加速し、デysinフレが一服した。一方、同月の生産者物価は同+27.6%と伸びが再び加速し、先行きのインフレ再加速の可能性を物語る。

### 消費者物価



(注)破線はインフレ目標(5%)  
(出所)トルコ統計局

### 生産者物価



(出所)トルコ統計局

## トルコ景気概況⑥ トルコ中銀は金利据え置き

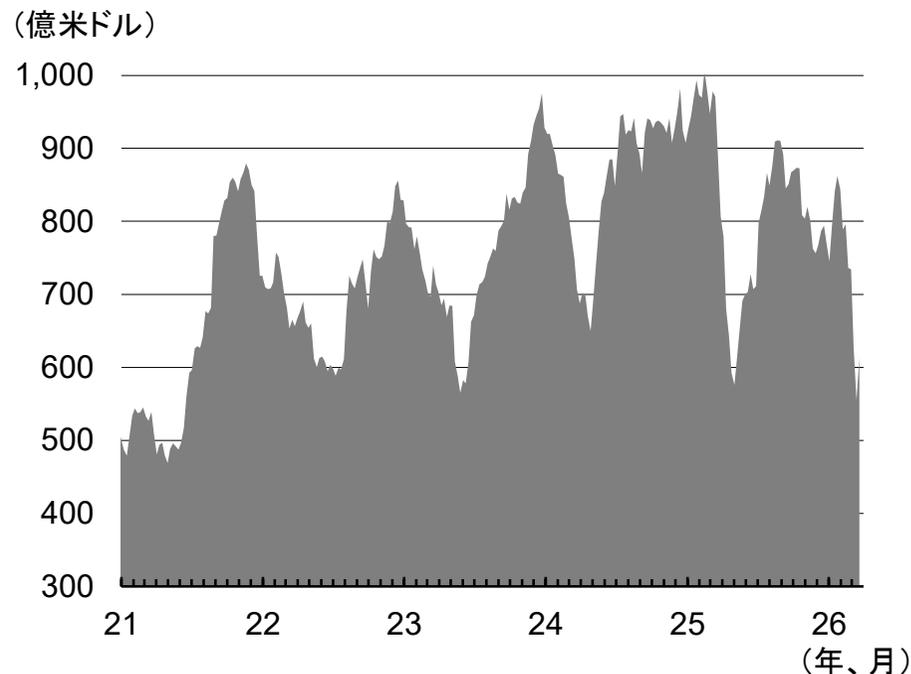
トルコ中銀は2026年3月12日の金融政策決定会合で、主要政策金利を年37.0%に据え置いた。インフレ再加速の兆しや“有事のドル買い”を受けた通貨安に伴う措置。一方、トルコ中銀の外貨準備高は700億ドル台半ばから600億ドル程度まで減少した。同時にトルコ中銀は金準備も売却しており、リラ買い介入を強めたものと判断される。

### 政策金利(一週間レポ金利)



(出所)トルコ中央銀行

### 外貨準備高(除く金)



(出所)トルコ中央銀行

## トルコ景気概況⑦ 金利は上昇、株価は下落

トルコの長期金利は2026年1-3月期に上昇した。イラン情勢の緊迫化で投資家のトルコ国債離れが進んだもよう。一方、同期のトルコの株価は下落した。イラン情勢の緊迫化でリスクオフの流れが生じた結果と考えられる。

### 10年国債流通利回り



(出所)トルコ中央銀行

### 株価(イスタンブール100指数)

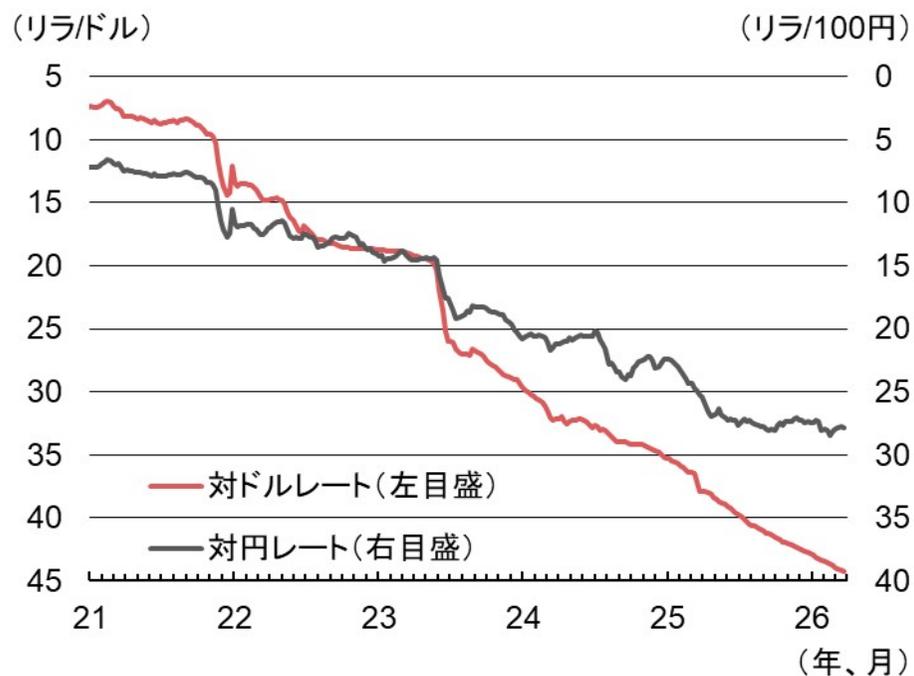


(出所)イスタンブール証券取引所

## トルコ景気概況⑧ 通貨は対ドル・対円で下落

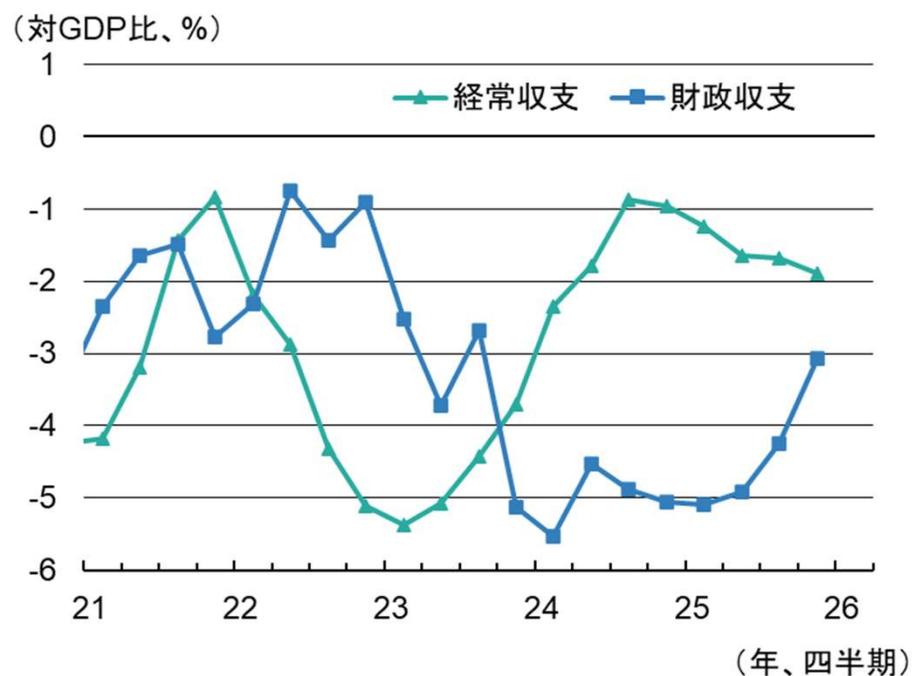
トルコの通貨リラの2026年1-3月期の相場は、対ドル・対円とも下落した。イラン情勢の緊迫化で“有事のドル買い”が生じた。他方で「双子の赤字」は、経常収支の赤字が拡大したが、財政赤字は縮小が進んだ。

### トルコリラ相場



(出所)トルコ中央銀行

### 経常収支と財政収支



(出所)トルコ統計局

## ご利用に際して

---

- 本資料は、執筆時点で信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

(お問い合わせ)

調査・開発本部 調査部 土田陽介

TEL: 03-6733-1628 E-mail: chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー